

長崎市提案型協働事業 令和2年度実施事業

評価結果及び審査会コメント

◆評価項目及び評価結果

| 団体名 | NPO 法人ながさきエコネット | 担当課名 | 農林振興課 |
|------|-----------------------------|--|-------|
| 事業名 | 茂木南部地区における市民も参加できる営農環境の保全事業 | | |
| 評価項目 | | 評価基準 | 評価 |
| ① | 協働のプロセス | ・目的を共有し、相互理解を深めながら、対等・自立の立場で事業に取り組んだか。 ・協定書に明記した役割分担を十分に果たし、双方に十分協議しながら事業を進めたか。 | A |
| ② | 目的・目標の達成度 | ・事業は予定通り順調に実施できたか。 ・事業の目的や目標を達成できたか。 | B |
| ③ | 市民の満足度 | ・事業の実施により、市民の関心や評価は高まったか。 | C |
| ④ | 協働の相乗効果 | ・協働で実施することにより、事業効果は上がったか。 ・事業の質の向上や、行政・市民活動団体間のネットワークが強化されたか。 | B |
| 総括 | | B | |

※ 評価項目における評価基準

A…大変優れている B…優れている C…どちらともいえない
D…どちらかといえば不十分である E…不十分である

◆審査会コメント

長崎のびわ産地を守り活かしていこうとする活動に、今後様々な事業展開を図る可能性が感じられた。また、コロナ禍において、臨機応変に、できることを着実に取り組んだ点は評価できる。

一方で、今後オーナー制度を充実させ、事業を継続していくためには、多くの人に認知され、共感してもらい、当該事業に巻き込んでいく必要があるため、SNS等も活用するなど、積極的に事業内容を発信し周知を図っていただきたい。その他、今回の提案型協働事業では、関係者以外の地域住民との関わりを十分に確立することができなかつたので、対面での交流ができない場合でも方法を工夫しながら地域住民と接点を持ち、地域で認められる事業に成長させていきたい。

今回新たに設立した団体「枇杷場茂木郎」については、事業を継続するうえでは、一定の労力と経費が必要となってくることから、ひとや経済的な基盤を確立するとともに、商品開発なども検討することで、営農環境の保全と人の交流に引続き取り組んでほしい。

長崎市提案型協働事業 令和2年度実施事業

評価結果及び審査会コメント

◆評価項目及び評価結果

| 団体名 | 一般社団法人トムテのおもちゃ箱 | 担当課名 | 子育て支援課 |
|------|-------------------|--|--------|
| 事業名 | 切れ目のない子育て支援環境整備事業 | | |
| 評価項目 | | 評価基準 | 評価 |
| ① | 協働のプロセス | ・目的を共有し、相互理解を深めながら、対等・自立の立場で事業に取り組んだか。 ・協定書に明記した役割分担を十分に果たし、双方に十分協議しながら事業を進めたか。 | A |
| ② | 目的・目標の達成度 | ・事業は予定通り順調に実施できたか。 ・事業の目的や目標を達成できたか。 | B |
| ③ | 市民の満足度 | ・事業の実施により、市民の関心や評価は高まったか。 | B |
| ④ | 協働の相乗効果 | ・協働で実施することにより、事業効果は上がったか。 ・事業の質の向上や、行政・市民活動団体間のネットワークが強化されたか。 | B |
| 総括 | | A | |

※ 評価項目における評価基準

A…大変優れている B…優れている C…どちらともいえない
D…どちらかといえば不十分である E…不十分である

◆審査会コメント

切れ目のない子育て支援につなげるため、コロナ禍の困難な状況において、試行錯誤を繰り返しながら、支援が必要な人々のニーズに対応した姿勢は高く評価できる。このような経験は、今後の事業や他の団体などにも大変参考となることから、ぜひ試行の過程を可視化し、経験から得たノウハウを他の団体や所属と共有してほしい。

対象となる世代は、SNS等で積極的に情報の受発信を行う人が多いため、効果的な広報を検討しながら、より多くの参加者が得られるように工夫していただきたい。

また、長崎市ではいくつかの地区に分け、子育て支援センターが設置されているが、地区内にこれから子育てを始める人がどれほどいて、どのようなサービスが求められているのかを事前に想定していれば、質的にも量的にも事業の効果を検証しやすいのではないかと感じられた。

大変有益な事業であるため、今後も事業を十分に検証し、より良い事業になることを期待している。